

FUKUOKA地域戦略フォーラム

FDCの成果と展望

国際競争力強化による福岡都市圏の持続的な成長に向けて

2015.01.27

後藤 太一

福岡地域戦略推進協議会(Fukuoka D.C.) 事務局長
goto@fukuoka-dc.jp.com

PHOTO : Fumio Hashimoto

写真提供 : 福岡市

1. FDCと地域戦略の概要

2. 事業推進における活用例

3. 成果と展望

福岡地域戦略推進協議会（FDC）とは

■ 福岡都市圏の成長戦略を策定から推進まで一貫して行うシンク&ドゥタンク

達成すべきこと

- 国際競争力の強化による福岡都市圏の持続的な成長
 - 域内総生産 = 営業利益 + 人件費 + 減価償却費 + 賃借料 + 租税公課 + 特許使用料

2011年4月設立

民官の資金・人材拠出 (2014年度予算)

- 企業 約2千万円 + 出向者4名
- 自治体 約4千万円
- その他 約2千万円

93の会員 (2014年10月30日現在)

- 正会員 67
- 特別会員 6
- 賛助会員 20
 - 世界的な英知を結集する実務専門家集団



設立の背景

■ 世界の地域づくり

国際地域ベンチマーク協議会(IRBC)

- 各地域の国際競争力を高めることを目的に、指標やまちづくり成功例の共有を行っている国際ネットワーク。
- 産学官の実行委員会により、2010年の年次総会を福岡で開催。



メンバー地域の分布地図

■ 日本の新しい公共

官民連携主体による地域づくり推進事業

- 法的支援制度の構築を行う上で、国の対等なパートナーとして選定（国交省2011～2012年度）
- 「官」の「縦割り」、「横割り」の制約や「民」の政策決定過程への関与の弱さを克服
- 地域の「官」と「民」が連携し、自発的に地域の活性化を進めることが必要
- 「官民連携主体」が地域戦略の策定段階から実施に至るまで一貫して関与することができるよう、国による支援制度の構築を行う

設立趣意（抜粋）

■ プラットフォームの基本的な考え方

世界各地からの多様な人材

- 福岡の活力を維持強化していくためには…、地域経済をグローバル化していくことが必要である。…世界各地から多様な人材を惹き付けることが起点となる。そして、国際的なビジネスを展開する人々が臨界を越えて集まり、地域の中核となって人材の誘致、既存産業の進化、新たな雇用創造といった内発的な成長に繋げていく戦略が必要である。

公共的かつ機動的な体制

- 産学官民が一体となった公共的な場（プラットフォーム）において、地域のリーダーシップの下に世界的な英知を結集していくために、戦略の策定から実施までを一貫して行う社会的な実務専門家（プロフェッショナル）集団を置く体制づくりである。

責任ある参画と戦略の実行

- 私達は、責任を持ってこの場に参画し、個々の利害を越えて全体最適の視点から、徹底した地域診断を踏まえて戦略オプションを抽出し、優先順位を付けた上で、相互に連携しつつスピード感を持って戦略を実行していく。そして、私達は、一つでも多くの関係者がこの場に参画し、福岡の発展のために協働していくことを希求する。

九州、日本、世界への貢献

- 地域に蓄積された戦略の企画推進力を他地域に水平展開することで、九州全体の一体的な発展、ひいては日本全体の成長に繋げていくことが可能である。そして、…、人材を起点とした新しい地域成長モデルを福岡から世界へと発信することで、人類全体の発展に貢献することを目指すものである。

特徴1/4 戦略を立案し実行する主体である

■ 会員は、当事者として、責任を持って参画している。



特徴2/4 世界と共に情勢を認識し戦略を組み立てている

■ 継続的に域外地域のキーパーソンと協働している。



特徴3/4 民間活力の投入と 公共政策の担保が連動している

■ 戦略の主要素が、福岡市マスタープランに位置づけられている。

福岡市マスタープラン

都市経営の基本戦略

① 「生活の質の向上」と「都市の成長」
の好循環を創り出す

地域

人材

MICE
都心

スタート
アップ

② 福岡都市圏全体として発展し、
広域的な役割を担う

 *Fukuoka D.C.*

福岡都市圏の 成長戦略

8つの重点産業分野

×

8つのビジネス基盤

人材

MICE

都心

特徴4/4 福岡の市民力を成長の源泉に位置づけている

■ 産学官連携に留まらず、社会の課題を解決するビジネスを創造する。

The screenshot shows the website for the Fukuoka Regional Summit 2013. The header includes the Fukuoka D.C. logo and navigation links. The main content area features a large banner with the text 'Fukuoka 地域サミット 2013' and the date '2013.11/5(火) 10:00~17:00'. It also includes a '参加申し込み受付中!' (Registration open!) button and a list of details: '会場: ヒルトン福岡シーホーク1階', '対象: FDCの活動に関心をお持ちの一般市民の皆様、FDC構成団体', and '主催: 福岡地域戦略推進協議会 Fukuoka D.C.'. A small illustration of diverse people is shown at the bottom of the banner.



Involve the citizens

They have many great ideas

RECENT POSTS



Jun Itano

総合設計制度の公開空地のあり方を変える。広場と商業の関係が導けるよう、公開空地には何かしら商業が附随できるよう設備やスペースを確保すること。のような。地代収入はOKとするなど。

See Translation

Like · Comment · Follow Post · Share · 25 minutes ago near Fukuoka-shi, Fukuoka



Kaoru Suehiro

明後日6月7日曜日に、オランダを中心に世界中から招かれた都市デザインの専門家たちが考えてきた福岡を良くする提案を、市長らの前でプレゼンテーションします。彼らの結論は、中途半端に大きな夢のような計画を示してもリアリティが無いので、大きな方針だけを言葉で示すことと、同時にすぐにでもできる福岡を良くする小さなアイデアを100個集めて、きちんと実行してゆくことが大切だということです。その手始めのアイデアが、ツイッターやフェイスブックを使って明後日までにできるだけ多くのアイデアを集めようということでした!!

See Translation

Like · Comment · Follow Post · Share · Yesterday at 1:38pm



Avery Morrow

Fukuoka is my favorite big city in Japan. I wouldn't change anything about Fukuoka. If you added trash cans like most people said here, then people wouldn't take responsibility for their trash as is the case in most of Japan.

The one thing I want the government to pay attention to is official support for yatai. Fukuoka should be encouraging more yatai, especially late at night. When people leave their evening izakaya and stop by at yatai, they always meet someone new and bring the city closer together. I don't understand why yatai are being shut down since both foreigners and Japanese love them.

Like · Comment · Follow Post · Share · 6 hours ago near Imari-shi, Saga

国からも地域活性化のモデルとされている 1/2

■ 経済財政諮問会議にて 有識者議員が地域の協議会の強化を提言した

(2)コンパクト・シティ実現に向けた民間活力の導入強化

①地域再開発のためのPPP方式の導入

地域経済再生の司令塔として、地域の関係者(産学金官)が参画するプラットフォーム(協議会)を設置し、長期的な視野に立って戦略的な再開発、面的な地域開発を計画・推進。その際、準行政機関としての位置づけの付与、権限の移譲を検討。



○プラットフォーム (協議会)

(例)福岡都市圏では、78 団体 (産官学金) が参加して成長戦略策定から実施までを一貫して推進するシンク・アンド・ドゥ・タンクとして発足した「福岡地域戦略推進協議会 (FDC)」が、地域の新しい将来像を描き、そのためのプロジェクトを官民連携で実施しようとしている。

国からも地域活性化のモデルとされている 2/2

- 日本再興戦略を中長期的な発展につなげるための専門調査会にて、地域産業形成の事例として紹介された。

17. 地域を支える産業の形成

- 地域の経済成長を目指し、地域を支える産業を形成していくための取組として、産官学が連携して、明確な戦略のもとに必要な取組を実施する事例が見られる。

福岡地域戦略推進協議会(FDC)の取組

■協議会概要

- 2011年設立
- 福岡県、福岡市、民間企業・大学等
- 戦略の策定から実施までを一貫して行う「シンク&ドゥタンク」

■活動内容

- 5つの部会（観光部会、環境部会、人材部会、都市再生部会、食部会）を設置して、プロジェクトを推進。

■明確な目標

- 福岡都市圏では、2020年までに域内総生産+2.8兆円（年率+0.5%）、雇用+6万人（年率+0.3%）、人口+7万人を目指す。

(資料)福岡市資料、福岡地域戦略推進協議会資料

東北における産官学連携

■産官学ラウンドテーブル（産官学の連携組織）

東北大学、(社)東北経済連合会、仙台市、宮城県の四者により、地域産業経済の成長に向け以下の取組等を実施。

- 半導体・自動車関連企業の誘致
- 「みやぎ復興パーク」をインキュベーション施設として設置。（次世代自動車プロジェクト(電気自動車等)、被災企業等入居）
- みやぎ産業人材育成プラットフォームの設立（高度人材・起業家育成等）
- 学・官での人事交流
- ベンチャーファンドの創設（投資先例）・計測機器開発製造販売・体内代謝解析受託

(資料)社東北経済連合会資料、宮城県HP、東北イノベーションキャピタル社HP

海外における地域産業の形成

■海外においても地域の経済成長を目指す取組の事例が存在

- リサーチ・トライアングル地域パートナーシップ（アメリカ・ノースカロライナ州）：自治体、商工会議所、大学等の約50団体で構成。エレクトロニクス、バイオ関連産業が集積。
- LEPs（Local Enterprise Partnerships）イギリス：複数の自治体、経済界、市民団体から構成。39の団体が存在。競争的資金等をもとに国から権限を委譲され、地域の成長戦略を決定し、実施。

29

出所： 内閣府 第1回 地域の未来ワーキング・グループ 資料6

徹底した地域診断

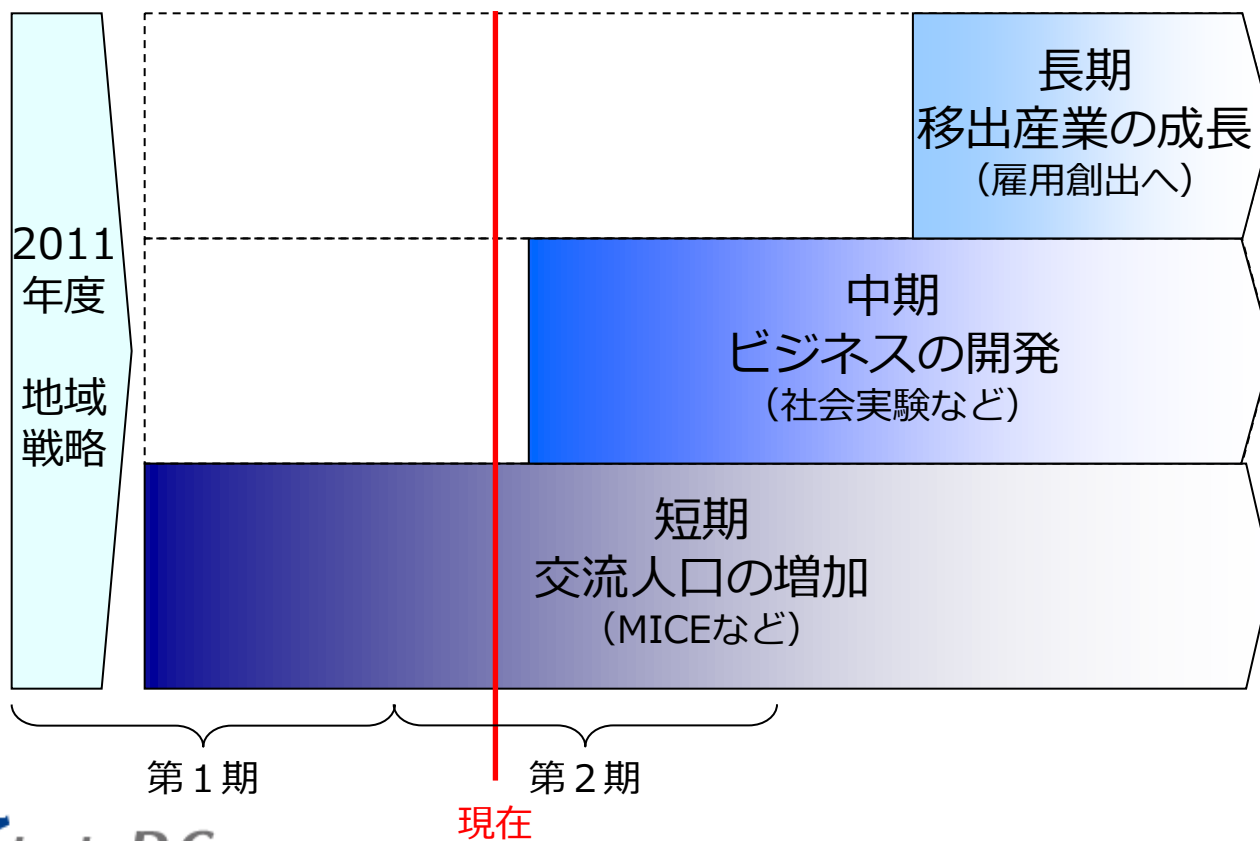
■ 現実を冷徹に認識しつつ、攻めの姿勢と実現性のある地域戦略を検討

		機会	脅威
		<ul style="list-style-type: none"> ■ アジアの成長 ■ 九州の統合深化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人口減少 ■ 東日本大震災 ■ 世界経済危機 ■ 日本の国際競争力低下
強 み	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東アジアの中心という戦略的な位置 ■ 高い暮らしの質 ■ 九州における中枢性 	アジアの成長と共にビジネス拠点として成長	多様な人材にとって住みやすく働きやすい環境づくり
弱 み	<ul style="list-style-type: none"> ■ 低い社会的多様性 ■ 断片化したリーダーシップ 	産学官民パートナーシップによるスピードと責任ある推進	内需型産業の革新による雇用基盤の維持

地域戦略

■ 交流の活性化により 質を重視した成長をはかる

1. 域外に向けて挑戦する環境をつくる
2. 人材の多様性を強化する
3. 革新的・創造的な交流の場をつくる



戦略テーマの絞込み

事業採算性
(勝算、実現可能性)
(担い手の見通し)

8つの重点産業分野

- ⑤ 高等教育の産業化
- ⑥ デジタルコンテンツ産業
- ⑦ ファッション産業
- ⑧ 集客・交流の産業化
- ⑨ 通販ビジネスの高度化
- ⑩ 食の6次産業化、海外展開
- ⑪ 生活関連サービスの高度化
- ⑫ グローバル企業・施設の誘致

+1,200億円～
(+1.5%/年～)

+270億円～
(+1.5%/年～)

+1,900億円～
(+2.1%/年～)

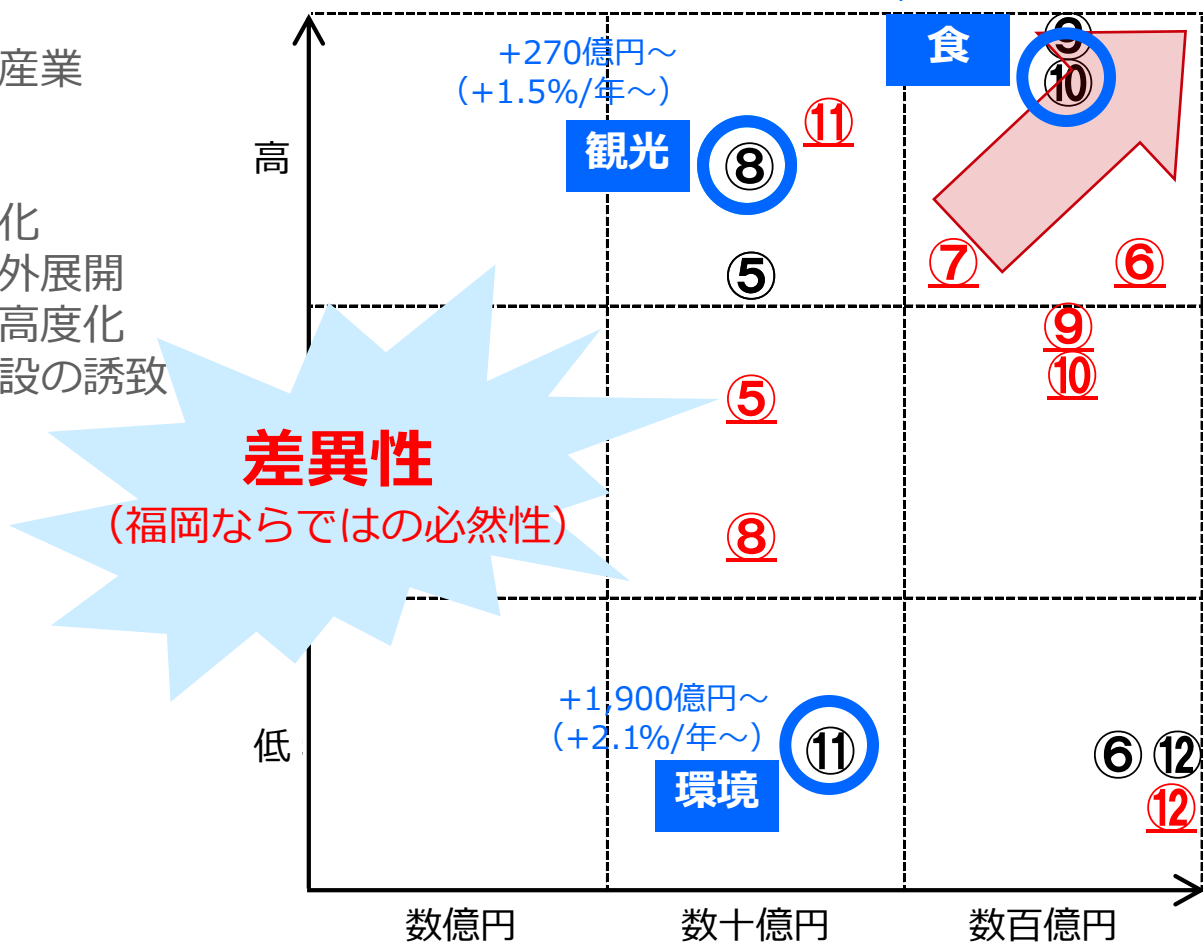
8つのビジネス基盤

経済基盤

- 中小企業振興
- 資金調達
- 人材開発
- 社会実験

街づくり

- 都心
- ウォーターフロント
- 交通ネットワーク
- 住環境



黒 = 福岡都市圏
赤 = 全国 (平均)

成長性
(10年後の市場規模)
(九州への波及効果)

1. FDCと地域戦略の概要
- 2. 事業推進における活用例**
3. 成果と展望

16の戦略テーマを踏まえ、5つの部会で事業を推進

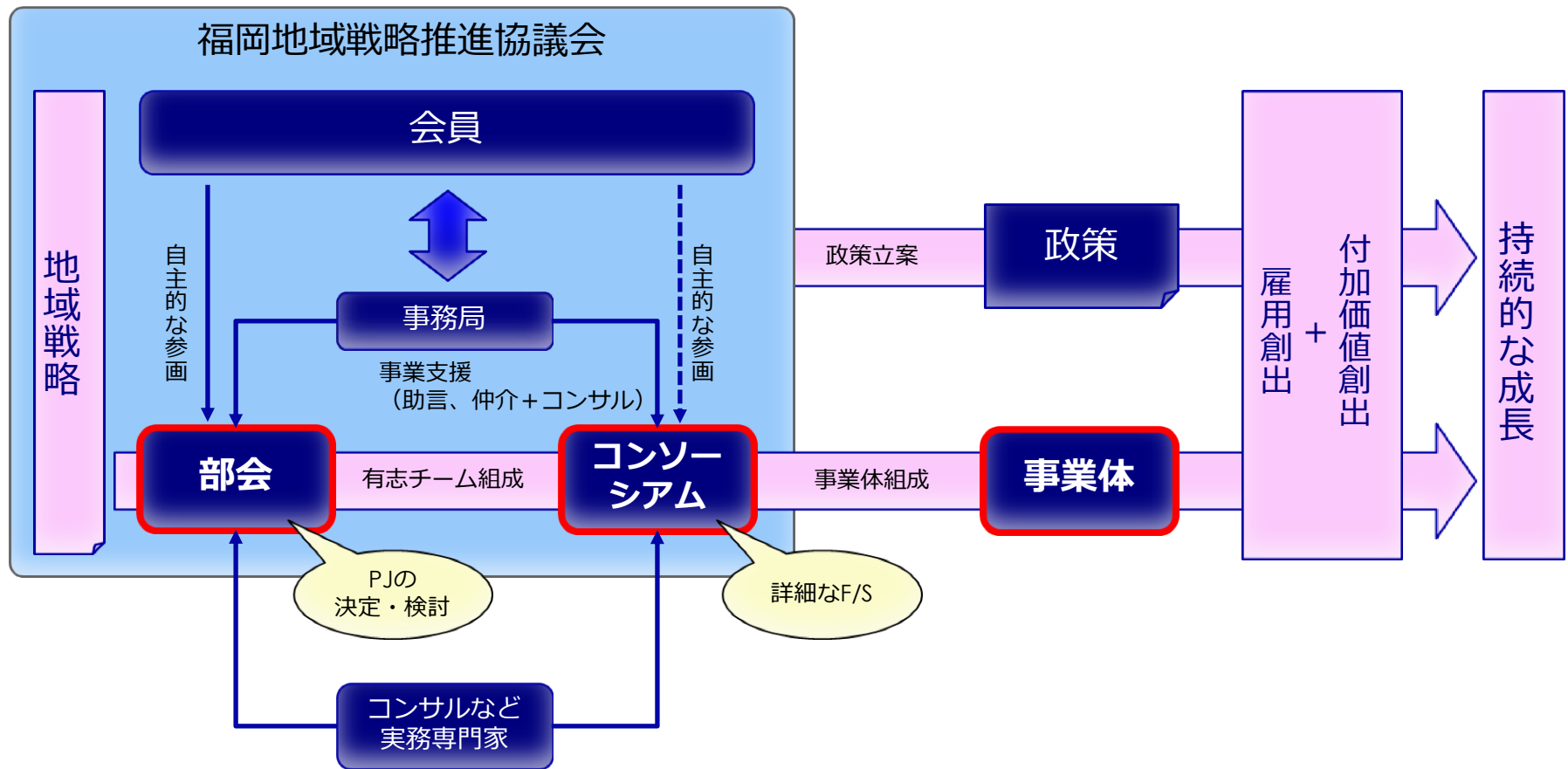
■ MICEを軸に、相互に連携する様々な事業を推進



事業化の基本的な流れ

■ 部会、コンソーシアム、事業体の三段階

部会での開かれた検討から、有志による詳細F/Sを経て、事業の担い手が決定



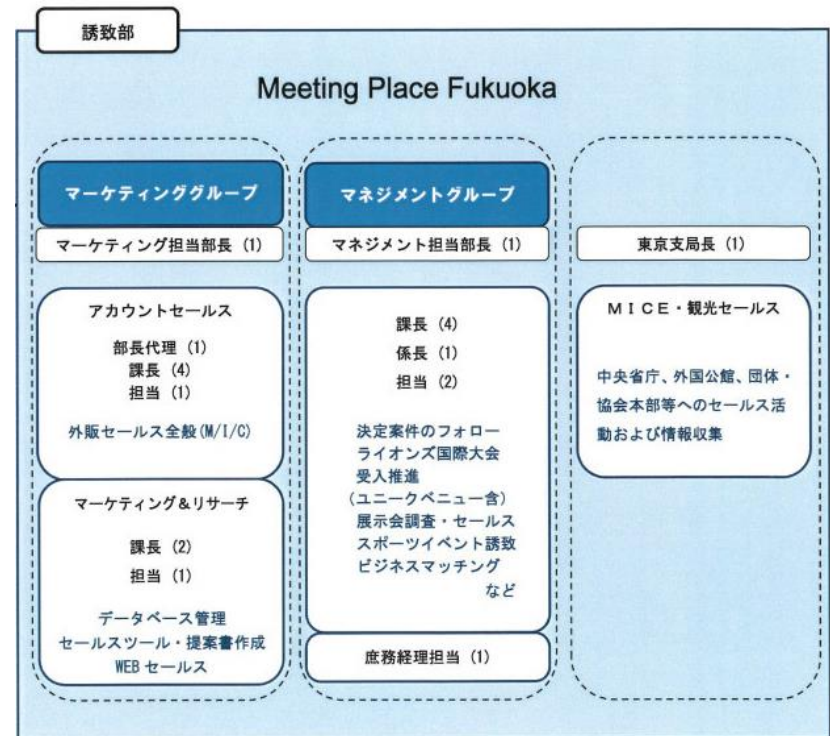
観光部会

■ 部会の目標

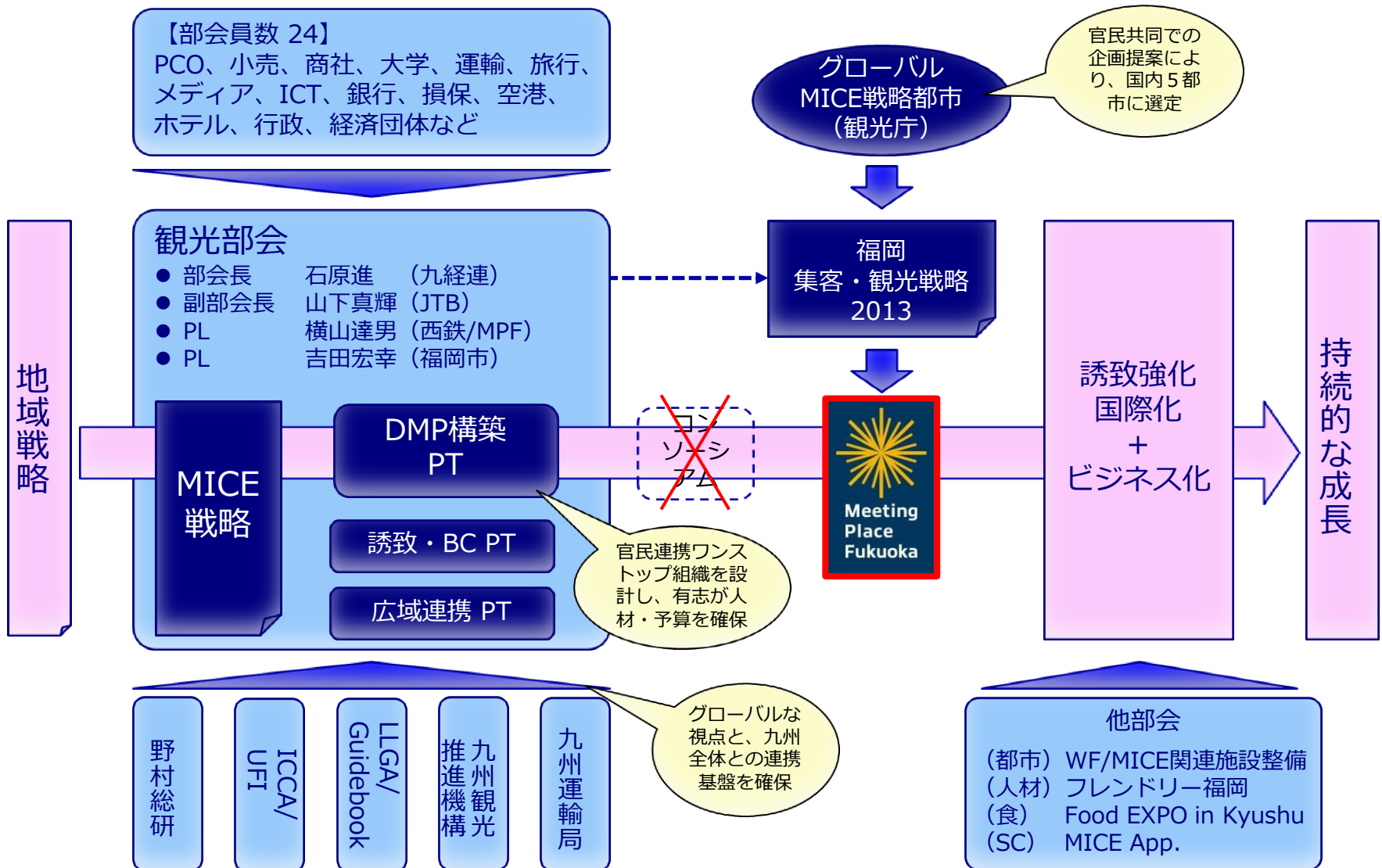
1. 目的地としての九州の国際的認知の向上
2. インバウンド・アウトバウンドの双方の交流の活性化
3. 九州の集客交流にとっての福岡都市圏のゲートウェイ機能拡充

■ Meeting Place Fukuoka (MPF) の設立 (2014年4月)

MICEの誘致受入・企画を行う
国内初の官民連携ワンストップ組織



官民連携によるMPF設立と国の政策指定



スマートシティ部会

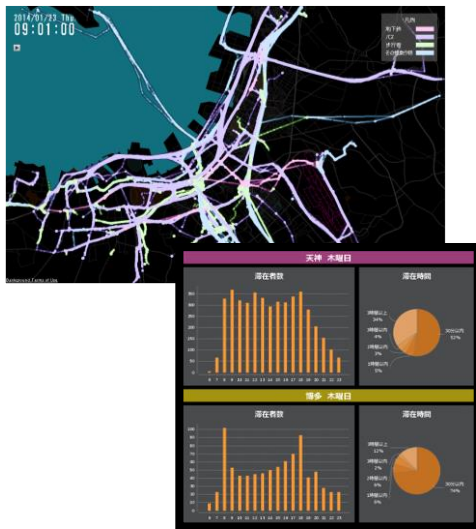
■ 部会の目標

1. 福岡版スマートシティ・モデルの構想および企画の確立
2. 福岡版スマートシティ・モデルの国内外での認知の向上
3. 九州全体での移出型の新しい環境産業の創出、集積

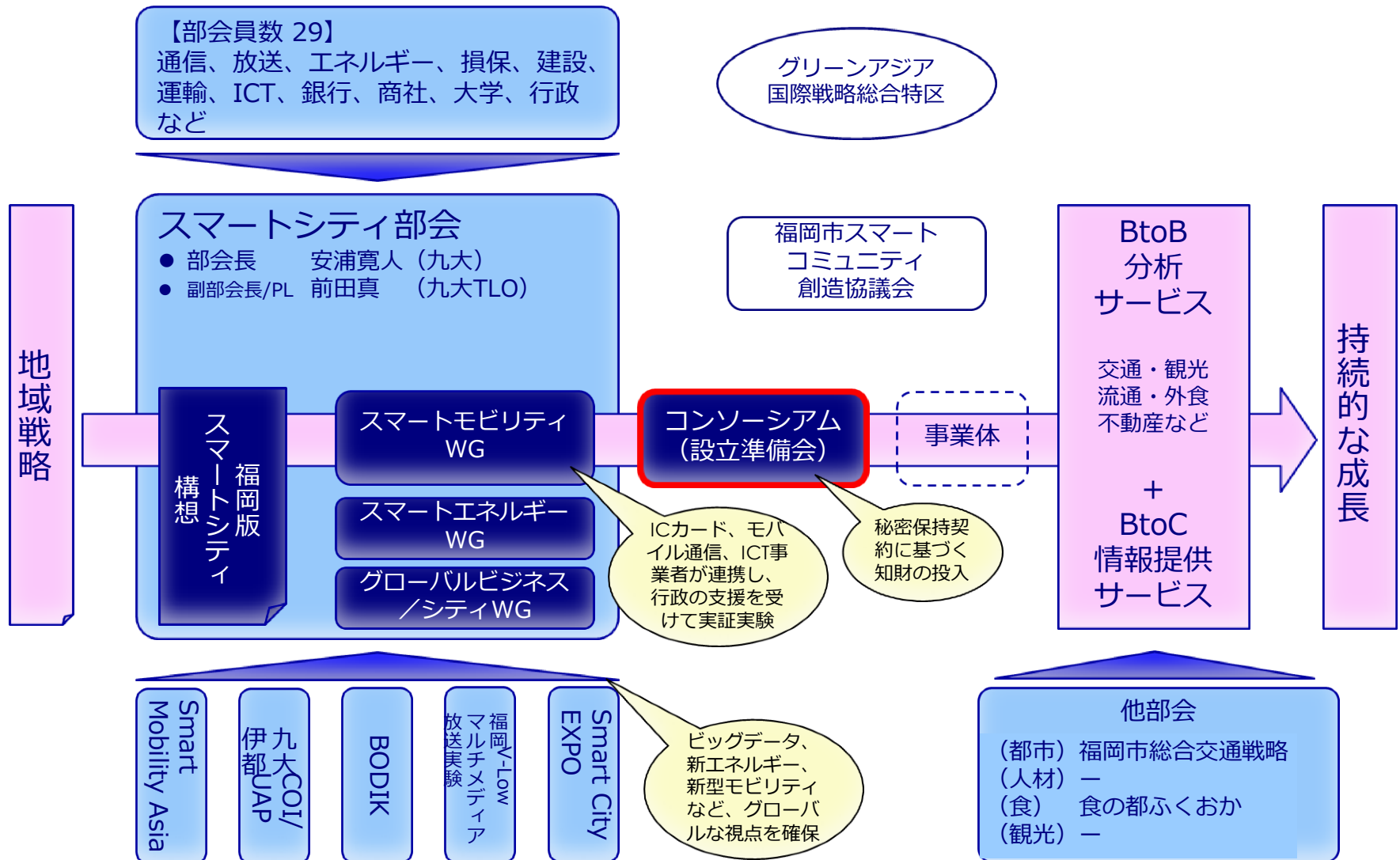
■ スマートモビリティWGの検討

人流・交通流を「見える化」する、人流・交通流分析センター（仮称）の構築

FDC2013人の流れ調査実験



多様な事業者と行政が、実証実験を経てF/Sに移行



食部会

■ 部会の目標

1. 福岡・九州の食文化の国際的な高品質ブランド化
2. 九州の食産業の高付加価値化と移出型への段階的な引上げ
3. 観光や都市再生など他テーマとの相乗効果の最大化

■ フード・エキスポ in 九州

海外70国内52のバイヤーと九州の食産業従事者143団体の商談（国内最大級）



九州の大地で育まれた自慢の「食」が大集合。

九州の食の未来、体感しませんか

Food EXPO Kyushu

~from Fukuoka to the Global Market~



Food EXPO Kyushu実行委員会

九州の食のブランド化と商流最適化への実践活動

【部会員数 14】
食品、飲料、エネルギー、損保、ICT、
メディア、銀行、商社、大学、行政
など

クールジャパン
戦略

福岡フードビジネス
協議会

地域戦略

食部会

- 部会長 中村仁彦 (福岡商議所)
- 副部会長/PL 合野弘一 (福岡市)
- PL 徳島建征 (トクスイ)

ブランドコンセプト
設定PT

企業・関係者
ネットワーク構築
PT

企画案
Food EXPO

九州全体を
視野に多様
な食産業関
係者を糾合

Food EXPO
Kyushu
実行委員会

商流の
最適化

産業振興
+
集客交流

持続的な成長

食の都
ふくおか
実行委員会

スマホによる
来場者管
理・分析実
証実験

グローバル
な視野の
マーケティングからブ
ランド戦略
を検討

- 外国人対象
アンケート
- シミュラン
- イタリア見本市
- 博多うまかもん市
- IRBC

九州の食
関連事業者

国内外
バイヤー

他部会

- (都市) 水辺活性化
- (人材) -
- (SC) スマホアプリと通信技術
- (観光) MPF

人材部会

■ 部会の目標

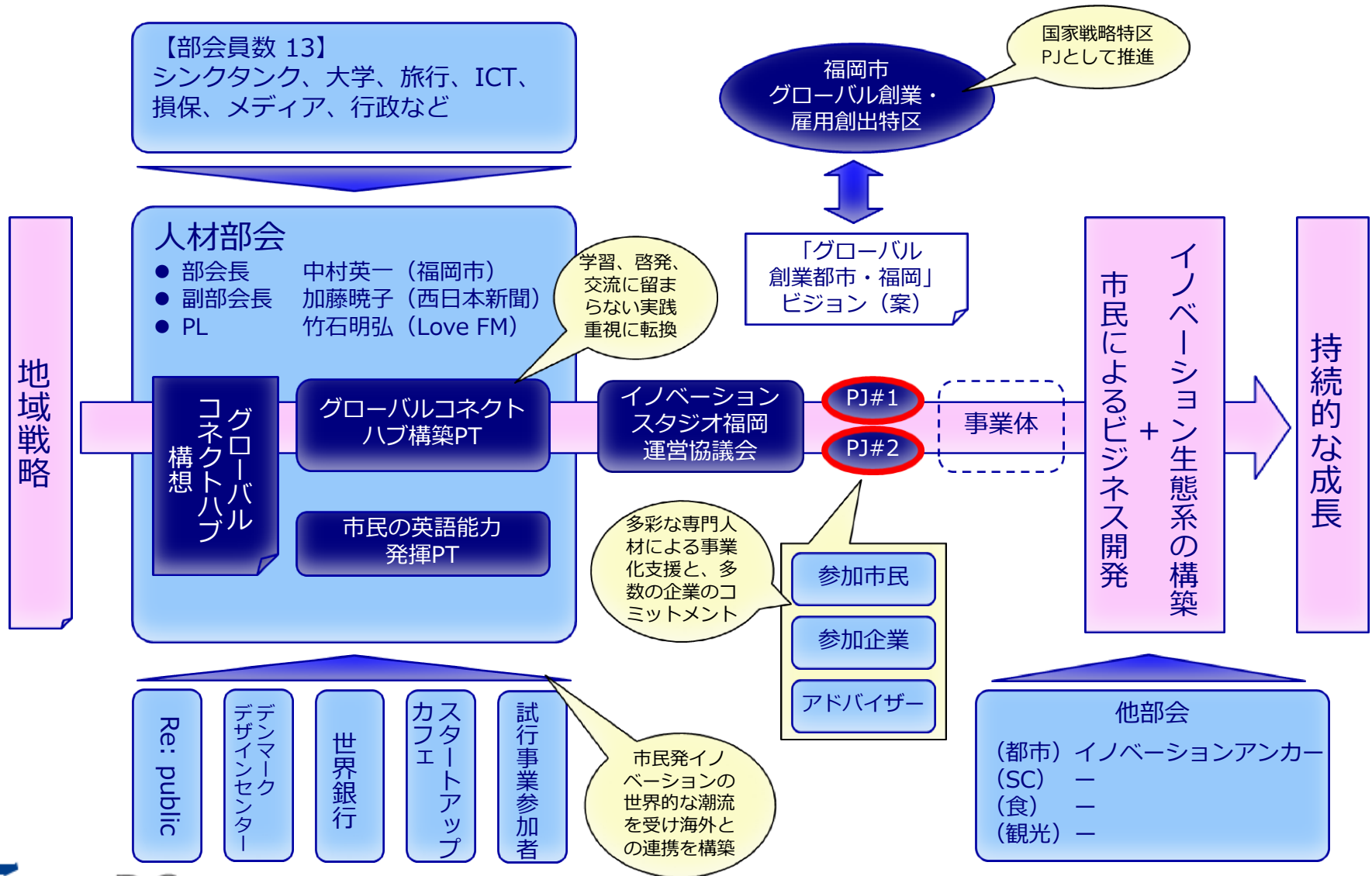
1. 多様な人材が活躍する国際的な社会づくり
2. 質の高い雇用を創出するグローバルな企業の育成・立地
3. 国際的なビジネス・活動に関わる市民の増加

■ イノベーション・スタジオ福岡

多様な市民と企業の協働により、新しいビジネスを生み出すプログラム



イノベーションの事業化からの 生態系の構築



都市再生部会

■ 部会の目標

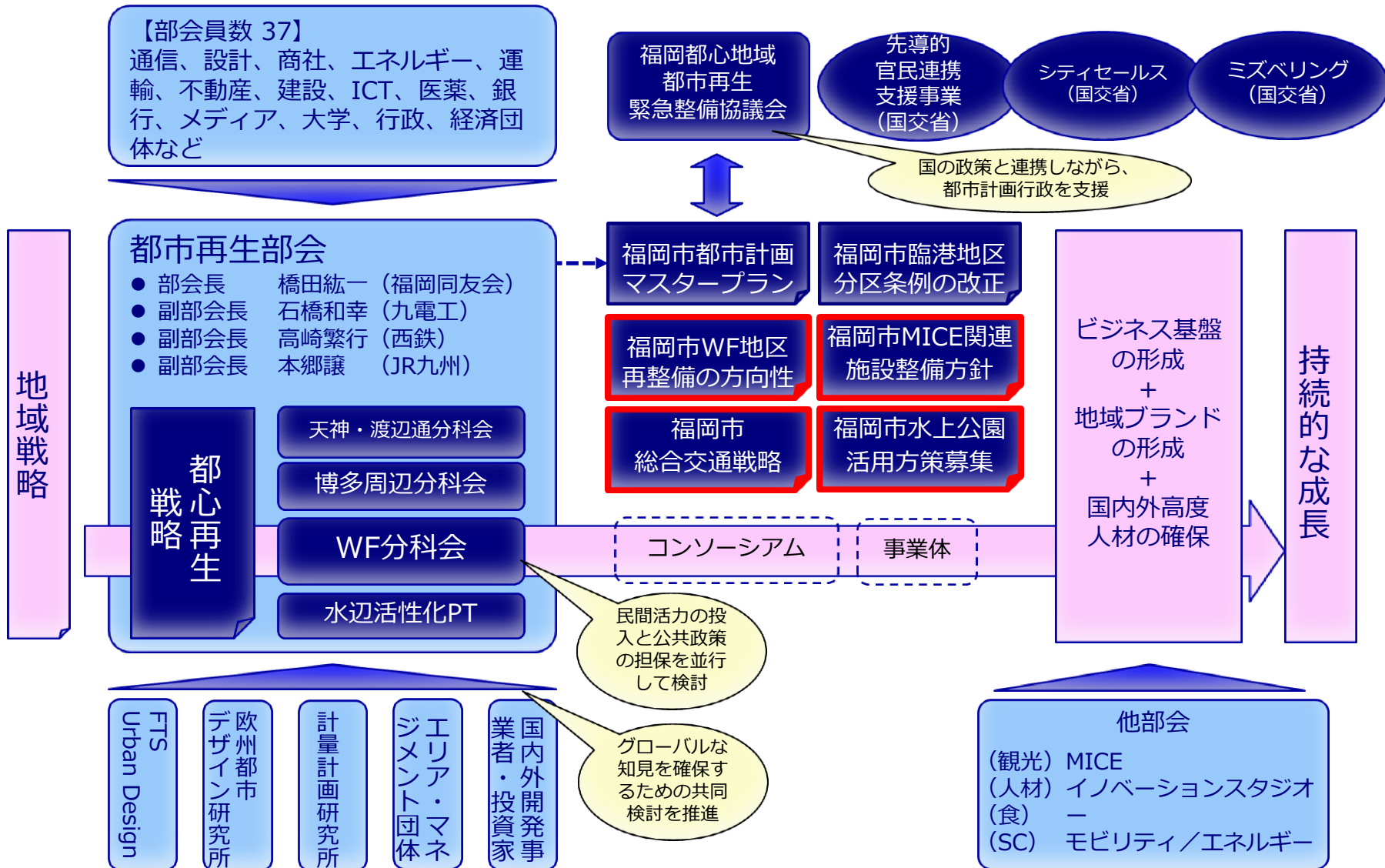
1. 経済産業活動と市民の暮らしを支える、質の高い街づくり
2. 人、企業、投資を呼込む枠組みづくり
3. 街づくりの移出産業化（街づくりノウハウの域外輸出）

■ 都心再生戦略

イノベーション経済のエンジンとなる都心を段階的につくる行動を開始する

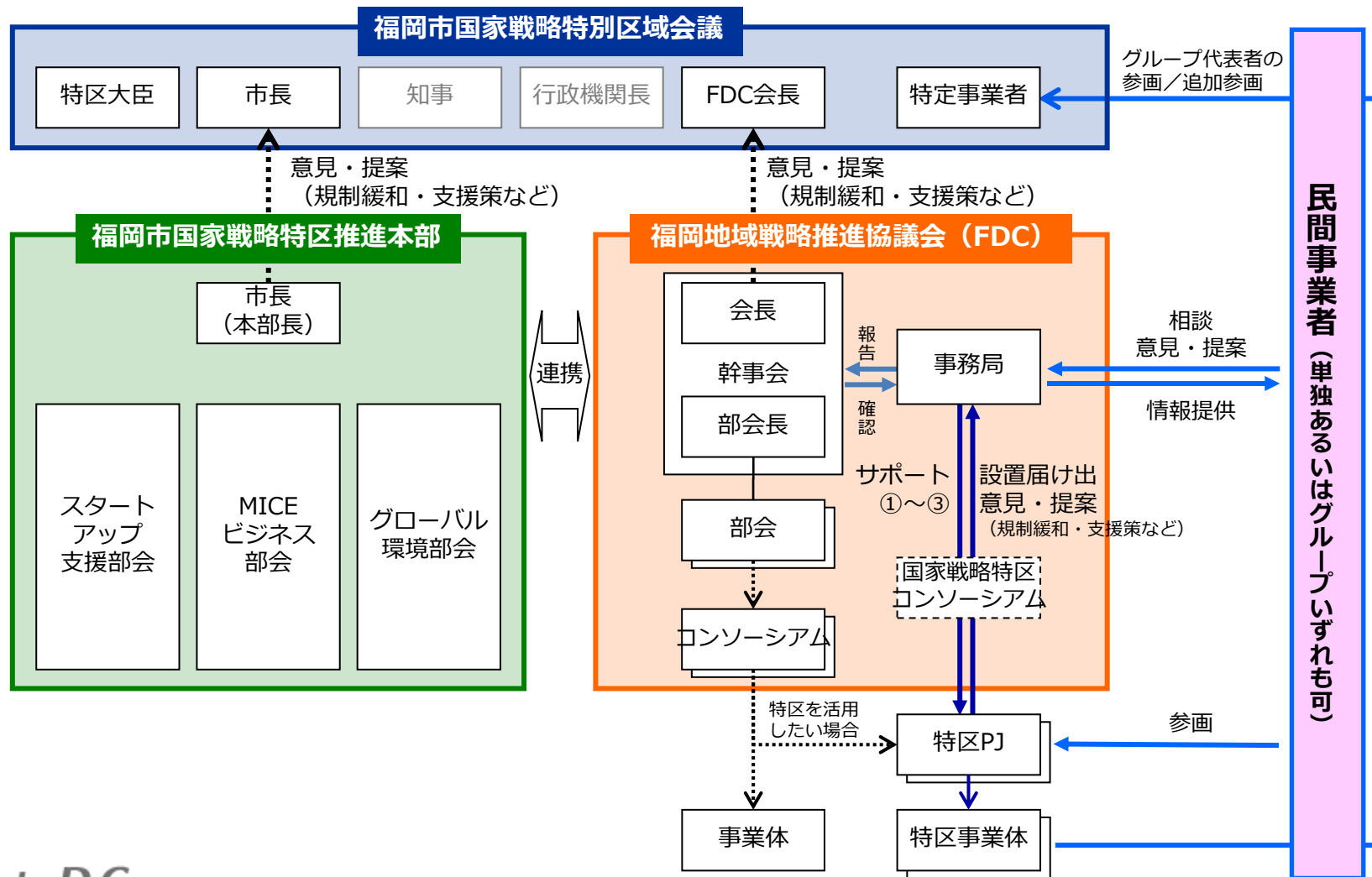


開発市場の創造 + 事業環境の整備 + 当事者の支援

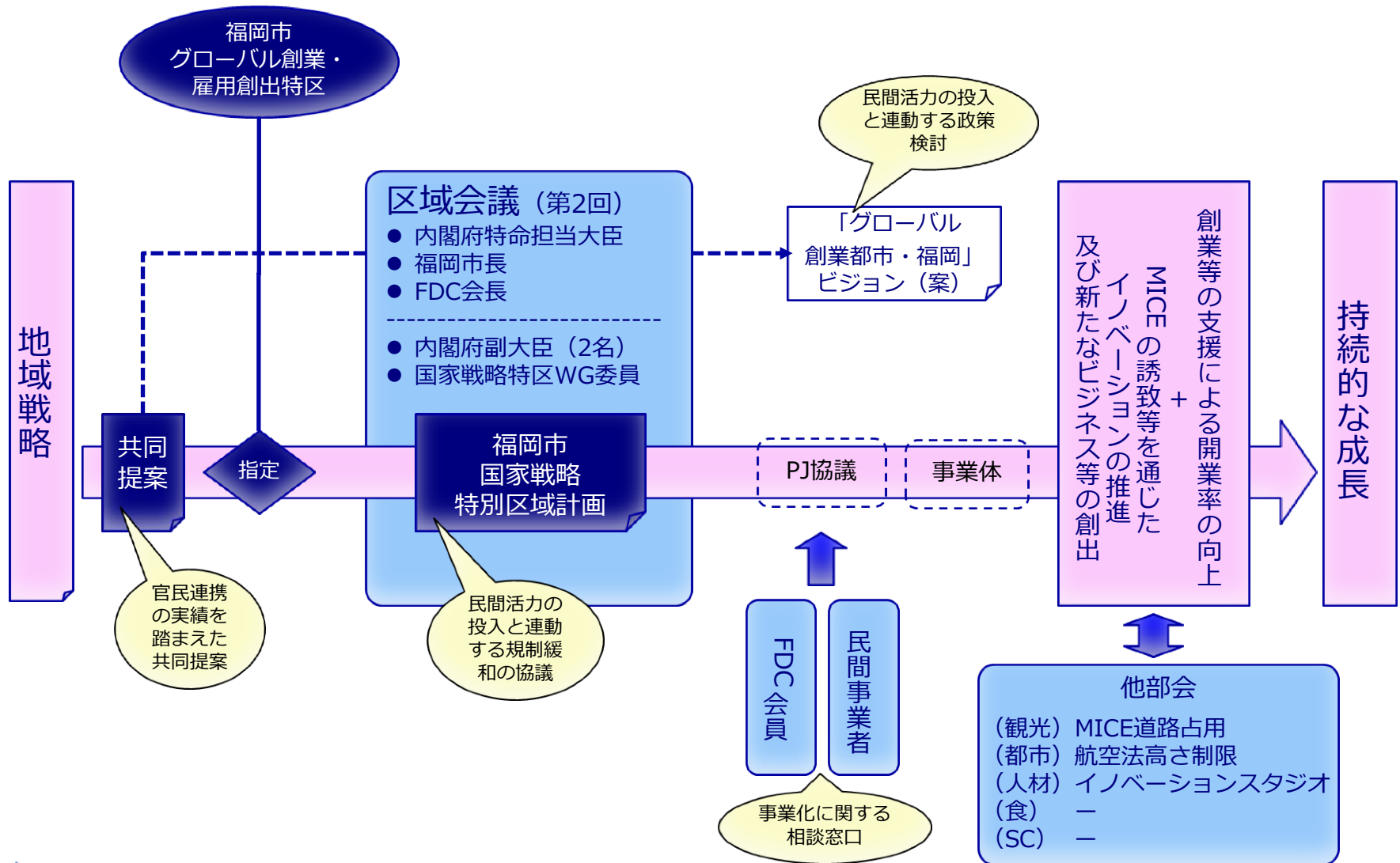


国家戦略特区

■ 事業の発掘、および規制緩和及び支援策に関する意見提出



共同提案者として 事業発掘と規制緩和提案



1. FDCと地域戦略の概要
2. 事業推進における活用例
- 3. 成果と展望**

成果1/3 協働の基盤を発展させてきた

■ 会員の増加

主に、域外企業が増加

■ 36→93 (設立時→10月30日現在)

■ うち、正会員23→67 / 特別会員6→6 / 賛助会員7→20

■ 市民理解の促進

フォーラムなど

メディア発信

■ 新聞、テレビ、雑誌、web、Facebookなど

■ 政府からの評価

内閣府経済財政諮問会議「地域経済再生の司令塔」

■ グローバル創業・雇用創出特区 (福岡市と共同提案)

■ グローバルMICE戦略都市 (福岡市)

■ その他、各省庁との連携



国家戦略特区に指定された6地域

成果2/3 域外へのワンストップ窓口を確立してきた

■ 日本政府

- 内閣官房、内閣府、総務省、財務省、経済産業省、国土交通省

■ 外国の政府・自治体・国際機関など

- フランス
- デンマーク
- スペイン
- シンガポール
- オランダ
- オーストラリア
- スウェーデン
- インド

国際地域ベンチマーク協議会（IRBC）

国際社会実験（Citymart / LLGA）、国連ハビタット、世界銀行

■ 対内投資受入支援

デベロッパー、ファンド、銀行、企業R&D部門など

■ 域外企業へのビジネス開発支援

イノベーション・スタジオへの参画
複数の企業からの打診



成果3/3 事業体の目論見を検討してきた

■ 地域戦略の策定

■ 部会の設置・運営

■ 政策への反映

福岡市

- 基本計画
- 集客・観光戦略
- 都市計画マスタープラン／都市交通基本計画

国家戦略特区

■ 規制緩和

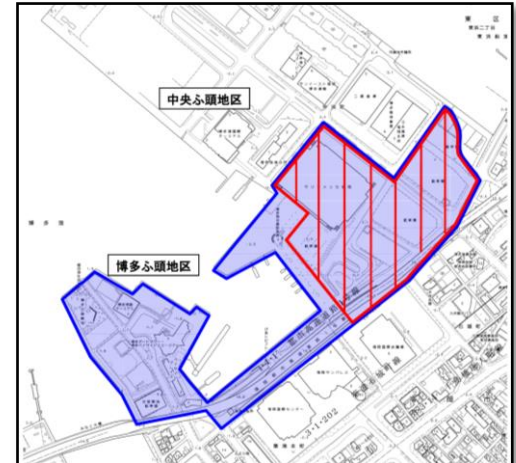
構築物の用途制限の緩和（臨港地区条例改正）

■ 事業体の目論見

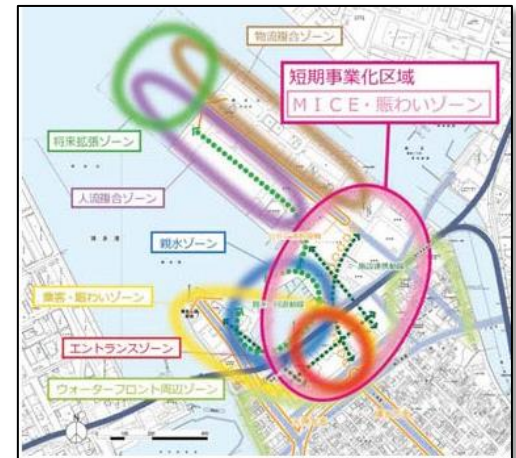
Meeting Place Fukuoka（福岡観光コンベンションビューロー）

ウォーターフロント再整備（福岡市）

MICE関連施設整備（福岡市）



福岡市資料



福岡市資料

今後の展望

■ 第2期（2014年度～2016年度）事業方針

実行「ドウ」に焦点を移し、設立趣意と地域戦略を引続き推進し、世界に選ばれる福岡の価値をつくる

■ 事業化

- 目論見に基づき事業体を組成し、事業を軌道に乗せる支援を行う。
- 有志のメンバーがプロジェクトの事業性検討を実施する「コンソーシアム」の組成・活動を支援する。

■ 広域化

- 福岡都市圏の自治体の参画を促す。
- 九州全体に成果を波及させていくための関係者連携の強化を図る。

■ 法人化

- 事業推進力の強化に資する法人化について継続検討する。

プラットフォームの一般社団法人化

金融機能を備えた事業支援会社の組成など

2020年の世界

■ 世界地図に載る福岡

■ FDC戦略目標の達成へ

GRP +2.8兆円、雇用+6万人、人口+7万人

